



平成 27 年 11 月 1 日

らいかい恵子 議員便り

164 号

合志市議会議員 来海恵子 合志市幾久富1642 - 38

090-9655-1143

市民祭り・文化祭・市防災訓練など各地で行事の多い11月ですが、私は急に寒くなるこの時期が一番苦手です。いかがお過ごしですか？



外から見ると良く分かる！

合志市頑張ってる

「合志市は、何もなか！」と、よく耳にします。果たしてそうでしょうか？私が委員長をしている総務常任委員会は10月7日から2泊3日で、東京都町田市(公会計)、荒川区(荒川区民総幸福度)、神奈川県逗子市(地域自治の取り組み)で行政視察を行いました。それぞれ素晴らしい取り組みをされていて、学ぶ点多かったです。また、3自治体とも合志市が合併して10年間取り入れている行政評価を施策(実行すべき計画)に活かしていましたが、行政評価に関しては合志市の方が進んでいると感じた3日間でもありました。先進地で学ぶと大変勉強になり、それを参考に一般質問を行うこともあります。その反面、合志市の方が頑張っていると気づかされることも多いです。合志市のどんなところが素晴らしいかを、私なりに考えてみました。

市民サービスと職員数

合併して10年で、合志市の人口は7200人増え、また、市となって福祉事務所など仕事量も増えています。合併協

議では職員数を40人削減することになっていましたが、荒木市長になられて20人

職員数の比較

	職員	非常勤	合計	人口
H18.4.1 現在	341	171	512	52,516
H27.10.1 現在	321	290	611	59,716

削減した段階でこれ以上減らすと市民サービスに影響を及ぼす恐れがあるので議会と相談して削減をストップしました。給食の調理員さんや図書館の司書さんは、ほとんどが非常勤職員です。職員一人が担当する市民の数は 186 人で、人口 1000 人当たりの職員数は 4.91 人です。これは全国の類似団体内順位で 196 団体中 10

H27.10.1 現在 年代別職員数(特別職3名除く)

10代	3人	1%
20代	38人	12%
30代	99人	31%
40代	88人	28%
50代	81人	25%
60代	9人	3%

位。ちなみに全国平均は 7.35 人、県下平均で 7.83 人です。(H24 年 4 月定員管理資料) 議会事務局を例に挙げると現在職員は 4 人ですが、合志市より人口が少ない自治体でも議会事務局の職員は多いです。また、年代別でもこれから合併協議に携わったベテラン職員が大量に退職していきます。経験はお金では買えず、若い職員さんはしっかり現場を経験して心身ともにタフになってほしいと心から願います。また、若い時から積極的にまちづくりやボランティアに参加することで市民との距離が縮まり、人間関係ができると互いに仕事もやりやすくなるのではないのでしょうか。

堅実な財政運営

年度 区分	H18年度	H26年度
経常収支比率	98.3%	83.3%
実質公債費比率	14.7%	7.1%

* 経常収支比率・・・収入に対して、人件費や社会保障費など経常的に必要となる費用の割合を示すのが経常収支比率。数が高いほど、市町村が自由に使える財源が少ない。

* 実質公債費比率・・・自治体

年度 区分	H18年度末残高	H26年度末残高	
財政調整基金	1,527,256,015	3,743,275,817	
減債基金	351,821,361	538,085,920	
特定 目的 基金	ふるさと創生基金	119,354,326	75,252,307
	公共施設整備基金	323,172,373	2,102,296,505
	地域福祉基金	454,921,984	472,684,354
	水と土保全基金	21,365,991	21,794,703
	計	918,814,674	2,672,027,869
合計	2,797,892,050	6,953,389,606	

の収入に対する借金返済額の水準を表すのが実質公債費比率。同比率が 18%以上に

なった市町村は、新たな地方債の発行に知事の許可が必要となる。

* 基金・・・地方公共団体が条例の定めるところにより、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設ける財産。

* 1本算定・・・普通交付税は、市町村が自前で賄える収入より公共サービスに必要な経費が上回る場合、不足を補うために配られる。合併すると自治体運営経費が抑えられるとして、旧市町村に配分されていた額の合計より少なくなることが多い。国は平成の大合併を進めるため、特例で合併後一定期間は旧市町村ごとに算定(合併算定替)した交付税の合計を配分。段階的に減額される激変緩和期間を経て、合併から最長 15 年過ぎると、一つの団体として計算(一本算定)した額になる。

荒木市政になって6年、市民サービスに支障が出ないように職員減にストップをかけた上で、堅実な財政運営を行い、何かあると議会に 1 番に報告・相談されます。合併当初は必要経費を差し引いて自由に使えるお金が1.7%しかなかったのが、26年度決算では16.7%に増え、基金(貯金)も約 2.5 倍増やしました。しかし、喜んでば

かりはいられません。これから合併特例債の切れる5年間で、小中学校の新設、庁舎の増改築、生涯学習施設の立て直し等など急ぐ計画が目白押しです。また、地方交付税も1本算定で額が減り、特例債などの返済時期も重なり厳しい財政事情に変わりはありません。そこで議会では、「財政調査・研究特別委員会」と「教育施設設備等に関する調査研究特別委員会」を設置して、しっかり財政の裏付けを取りながら意見や提言ができるよう努め、また、何かあればすぐに、議会運営委員会・常任委員会・全員協議会を開き対応しています。私が所属する会派九思会も、毎月独自に勉強会を開いています。

市町村名	経常収支 比率	実質公債費 比率
市町村平均	88.6 (2.2)	9.2 (▲0.8)
熊本市	90.6 (1.1)	9.9 (▲0.7)
八代市	90.5 (1.0)	13.2 (▲1.2)
人吉市	101.1 (3.3)	7.1 (▲0.2)
尾市	91.7 (▲0.8)	11.7 (0.5)
水俣市	91.4 (▲2.6)	13.0 (0.1)
玉名市	89.9 (0.7)	10.0 (▲1.0)
山鹿市	89.4 (1.2)	9.3 (▲1.4)
菊池市	93.6 (0.4)	8.2 (▲0.6)
宇土市	91.9 (2.8)	10.3 (▲2.0)
上天草市	92.3 (3.0)	12.8 (▲0.2)
宇城市	88.1 (1.4)	12.2 (▲0.9)
阿蘇市	90.8 (2.5)	8.6 (▲0.8)
天草市	88.5 (横ばい)	9.8 (▲0.7)
合志市	83.3 (▲9.0)	7.1 (▲0.8)
美里町	89.8 (5.2)	7.3 (▲1.1)
玉東町	92.4 (▲1.7)	8.4 (▲1.7)
南関町	91.4 (3.8)	8.4 (横ばい)
長洲町	96.1 (▲3.6)	17.0 (▲1.4)
和水町	86.4 (5.4)	6.4 (▲0.1)
大津町	80.1 (▲0.5)	11.1 (▲0.8)
菊陽町	81.7 (▲3.0)	9.3 (▲1.1)
南小国町	89.2 (▲0.3)	11.8 (▲0.9)
小国町	92.6 (0.3)	12.9 (0.1)
産山村	78.6 (3.3)	10.3 (▲1.1)
高森町	84.5 (1.9)	8.7 (▲1.2)
西原村	84.1 (2.9)	6.1 (▲1.4)
南阿蘇村	87.8 (4.6)	6.5 (▲0.7)
御船町	90.8 (2.5)	7.5 (▲1.4)
嘉島町	84.6 (5.0)	4.5 (0.2)
益城町	89.7 (6.2)	6.1 (▲0.6)
甲佐町	87.6 (1.1)	6.8 (▲0.9)
山都町	84.9 (0.6)	7.3 (▲0.8)
氷川町	85.9 (▲0.7)	9.7 (▲1.9)
芦北町	89.6 (3.9)	4.4 (▲0.3)
津奈木町	86.6 (4.0)	2.7 (▲0.4)
錦町	86.5 (3.5)	11.4 (▲1.6)
多良木町	87.7 (2.3)	12.0 (▲1.0)
湯前町	93.9 (5.9)	5.8 (▲0.8)
水上村	81.2 (5.9)	9.3 (▲0.4)
相良村	92.8 (5.0)	10.3 (▲0.5)
五木村	92.2 (13.3)	9.6 (▲1.2)
山江村	89.8 (5.7)	7.9 (▲0.4)
球磨村	78.6 (5.3)	5.5 (0.1)
あさぎり町	84.1 (4.1)	12.2 (▲1.3)
葦北町	94.2 (1.6)	13.8 (▲0.6)

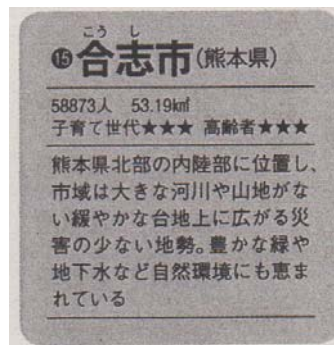
※ 内は前年度からの増減で単位はポイント、▲はマイナス

住むんだったら合志市！

合志市の県下での位置づけと、全国でどのように評価されているのか表してみました。

熊本県市町村ランキング(県内市町村数:45)

第1位	水道普及率 100%(H24.3.31) 生産農業所得額(農家1戸あたり) 2,758千円(H18年度) 農業産出額(農家1戸あたり) 10,554千円(H18年度) 小学校一枚あたり児童数 603人(H26.5.1)
第2位	人口密度 1076.8(人/k㎡)(H25.10.1) 年少人口(0-14歳)割合 16.7%(H22.10.1国調) 中学校一枚あたり生徒数 612人(H26.5.1)
その他	3位 一人あたりの市町村民所得 2,966千円(H23年度) 3位 住宅地平均価格 396百円/㎡(H26.7.1) 4位 人口増加率 1.10%(H25.10.1) 4位 出生率(千人あたり)11.0件(H25年)



週間「AERA」9月15日号
AERA オリジナル
の23自治体

「住みよさランキング」(東洋経済新報社実施)

2012年 全国788都市中 第31位 ・ 2013年 全国789都市中 第33位

2014年 全国791都市中 第31位 ・ 2015年 全国791都市中 第34位(九州・沖縄 1位)

合志市には大きなショッピングセンターもなく、パチンコ屋・ラブホテルもありませんが、子育て支援や教育関係に力を入れ、また、高齢者の政策においても他自治体より進んでいます。「娘夫婦が、合志市に引っ越したいと言って家を建てました。」等の話もよく聞き、嬉しいです。みなさんは、合志市が好きですか？私は、大きな川や山もなく災害の少ない合志市が大好きです！

議会報告会のご案内

「第3回議会報告」を下記のように開催し、常任委員会ごとに代表議員が市の問題点を分かりやすく報告し、参加者との意見交換を行います。



日時：11月28日(土)午後7時から

場所：ヴィーブル中央公民館2階研修室

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 TEL/FAX 248-8956

090-9655-1143 Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>

